

## 4 その他

### 4-1 工業技術センター研究開発推進会議

技術革新の急速な進展に対応し、中小企業の技術向上策に役立てるため、工業技術センターの研究開発の推進を図り、産業界及び学界の密接な連携のもとに、研究開発推進会議を設けている。委員ならびに会議開催は以下のとおりである。

第Ⅷ期委員（任期：平成14年4月～平成16年3月）

区 分	氏 名	所 属	役 職	備 考
産業部門	川崎 暢 義	(社)鹿児島県工業倶楽部	会 長	委員長
	石窪 奈穂美	消費生活アドバイザー		
	平岡 まり子	(株)佑和	代表取締役	
	松下 清 志	(株)マツシタデザイン	代表取締役	
	小城 年 久	小城製粉(株)	代表取締役	
	室屋 賢 康	日本澱粉工業(株)	開発研究部次長	
	一色 孝 次	京セラ(株)	総合研究所所長	
	齋藤 信 昭	(株)トヨタ車体研究所	取締役	
	森山 知 己	国分電機(株)	管理部長	
	吉崎 和 穂	大和木材(株)	代表取締役	
学術部門	赤坂 裕	鹿児島大学地域共同研究センター	センター長	副委員長
	安部 英 一	産業技術総合研究所九州センター	統括研究員	
	藤井 信	鹿児島大学農学部生物資源化学科	教 授	
	染川 賢 一	鹿児島大学工学部応用化学工学科	教 授	
	平田 好 洋	鹿児島大学工学部応用化学工学科	教 授	
	河野 良 弘	鹿児島工業高等専門学校電子制御工学科	教 授	
	山下 喜 市	鹿児島大学工学部電気電子工学科	教 授	
	服部 芳 明	鹿児島大学工学部生物環境学科	助教授	
行政部門	松尾 欣 也	九州経済産業局産業部技術振興課	課 長	
	佐藤 淳	日本政策投資銀行南九州支店企画調査課	課 長	
	大迫 陽 一	(財)かごしま産業支援センター産学官連携推進室	室 長	
	熊迫 紀 生	鹿児島県商工観光労働部工業振興課	課 長	

#### 第1回推進会議

開催日時：平成14年7月3日(水) 13:30～17:00

開催場所：工業技術センター

会議内容：①平成15年度新規研究課題の説明及び検討  
②工業技術センターの5か年ビジョンの検討

#### 第2回推進会議

開催日時：平成15年2月26日(水) 13:30～17:00

開催場所：鹿児島東急イン

会議内容：①平成15年度終了研究解題の中間報告及び評価  
②工業技術センターの5か年戦略の1年目総括及び「地域における技術創造」に関する座談会の概要報告と意見交換

## 4-2 「地域における技術創造」に関する座談会

### 1 目的

当センターは、平成14年12月で設立15年を迎えた。これまで、鹿児島県の産業活力を醸成するための技術基盤の強化や新たな企業ニーズに的確に対応し、企業をリードする「技術的拠りどころ」を目指すとともに、「出前技術支援」により県内企業技術者の技術向上への支援や「結の心」で県内企業との共同研究を推進している。また、担当する技術分野のみならず、前広な視野を持ち、心から企業に頼られるセンター研究員の育成を図っている。そこで、この節目の年に当たり、当センターの活性化策など将来像を語る「地域における技術創造（工業技術センターの将来像を語る）」に関する座談会を開催した。

### 2 座談会構成メンバー

部門	氏名	所属・職名
産業	石窪 奈穂美	消費生活アドバイザー
	桑野 正敬	(株)九州タブチ 代表取締役
	坂元 昭夫	坂元醸造(株) 代表取締役
	上田 亨	(株) 淵上ミクロ 常務取締役
学術	矢野 利明	鹿児島大学工学部長
	原口 泉	鹿児島大学法文学部人文学科 教授
行政	福永 法弘	日本政策投資銀行 南九州支店長

### 3 内容

- (1) 工業技術センターの15年のあゆみ
- (2) 各委員からの御意見・御提言及び意見交換

### 4-3 地域ものづくり対策事業費補助金事業 (中小企業技術開発産学官連携促進事業)

#### 4-3-1 高度非破壊センシングシステムの開発

分担テーマ 機械加工部品不良センシング技術に関する研究

##### (1) 産学官連携推進委員会事業

研究開発事業の企画、調整を行い、円滑な推進を図るために、推進委員会を設けた。委員ならびに会議開催は以下のとおりである。

推進委員 (任期：平成12年4月～平成15年3月) \*国、大学、企業のみを記載

	区 分	氏 名	所 属	役 職 名
全体	外部有識者	太田 公廣	技術総合研究所産学官連携部門	産学官連携コーディネータ
広島市	行政部門	坂上 勝彦	産業技術総合研究所知能システム研究部門	総括研究員
岩手県	産業部門 学術部門 行政部門 "	小原 久志 川又 憲 坂上 勝彦 小見山耕司	(株)アオバサイエンス 八戸工業大学 産業技術総合研究所知能システム研究部門 産業技術総合研究所計測標準研究部門	盛岡営業所長 講師 総括研究員 電磁界標準研究室長
秋田県	産業部門 学術部門 " 行政部門 "	池田 義治 玉本 英夫 横山 洋之 坂上 勝彦 小見山耕司	フューチャエレクトロニクス(株) 秋田大学 秋田大学 産業技術総合研究所知能システム研究部門 産業技術総合研究所計測標準研究部門	代表取締役 教授 講師 総括研究員 電磁界標準研究室長
山形県	産業部門 学術部門 行政部門	後藤 恒義 尾形 健明 小見山耕司	(株)山本製作所 山形大学 産業技術総合研究所計測標準研究部門	研究開発室長 助教授 電磁界標準研究室長
鹿児島県	産業部門 学術部門 行政部門 "	荒木 政親 佐藤 公則 坂上 勝彦 小見山耕司	(株)測上ミクロ 鹿児島大学 産業技術総合研究所知能システム研究部門 産業技術総合研究所計測標準研究部門	精機部部長 助教授 総括研究員 電磁界標準研究室長
経済産業局	行政部門 " "	藤岡 幸男 佐藤 寛 松尾 欣也	中国経済産業局産業部産業技術課 東北経済産業局産業部産業技術課 九州経済産業局産業部技術振興課	課 長 課 長 課 長

##### 推進委員会

開催日時：平成15年1月23日～1月24日

開催場所：(第1日目) 広島市工業技術センター (広島市中区千田町3-8-24)

(第2日目) 萬国製針(株) (広島市西区楠木町2-3-32)

(株)あじかん (広島市西区商工センター7-3-9)

内 容：(第1日目) ①普及事業実施状況報告 (開催及び市場調査結果報告)

②各個別テーマの成果報告

③質疑応答及び意見交換

(第2日目) ①工場見学

##### (2) 普及事業

###### ①成果普及発表会

「高度非破壊センシングシステムの開発」という統一テーマで、次のとおり計5回開催した。

開催日	開催場所	参加人数	備 考
11.14	岩手県工業技術センター	26	*印では、特別講演「身近になったマシンビジョン」(講師 産業技術総合研究所 坂上勝彦総括研究員)を併せて実施した。
11.21	広島市工業技術センター	48	
11.26	山形県工業技術センター	31	
11.29	鹿児島県工業技術センター	57	
12.10	秋田県工業技術センター	50	

また、普及のためのテキスト(100部)を作成し、参加者に配布した。

②その他の普及実績

- (口頭発表) ・平成14年度鹿児島県工業技術センター研究成果発表会 (平成14年7月17日)  
 「AOTFを用いた3次元形状計測装置の開発」  
 ・電気学会産業応用部門大会 (平成14年8月23日)  
 「AOTFを用いたレンジファインダの開発」  
 (誌上発表) ・鹿児島県工業技術センター研究報告 (平成14年10月発行)  
 「AOTFを用いた3次元形状計測システムの開発」  
 ・電気学会産業応用部門講演論文集 [I] (平成14年8月発行)  
 「AOTFを用いたレンジファインダの開発」  
 ・鹿児島県工業技術センター 鹿工技ニュース (平成15年1月発行)  
 「AOTFを用いた3次元形状計測装置について」

(3) その他事業

中核技術開発事業及び技術支援基盤事業

「2-2-6 電子・情報技術開発研究事業」の1. 機械加工部品不良センシング技術に関する研究に概要を記載した。

4-3-2 環境・情報技術(IT)に対応した次世代型加工システムの開発

分担テーマ 高速切削加工における工具挙動の可視化技術の開発

(1) 産学官連携推進委員会事業

中小企業技術開発産学官連携促進事業の円滑な推進を図るために、推進委員会を設けた。委員ならびに会議開催は以下のとおりである。

推進委員 (任期：平成13年4月～平成15年3月)

区分	氏名	所属	役職名
行政部門	野崎 武敏	産業技術総合研究所研究コーディネータ	ものづくり基盤技術支援室長
〃	水原 清司	産業技術総合研究所技術情報部門技術調査室	シニアリサーチャー
〃	古賀 博三	九州経済産業局産業部技術振興課	課長
〃	福満 義博	鹿児島県商工観光労働部工業振興課	課長
〃	水元 弘二	鹿児島県工業技術センター	所長
学術部門	近藤 英二	鹿児島大学	教授
〃	河野 良弘	鹿児島工業高等専門学校	教授
産業部門	大久保 治	アルバック精機(株)	代表取締役社長

推進委員会

① 第1回

開催日時：平成14年10月11日

開催場所：香川県産業技術センター

内容：各共同研究機関の研究概要発表に対して各委員から活発な質疑、意見交換が行われた。

② 第2回

開催日時：平成15年3月13日

開催場所：鹿児島県工業技術センター

内容：平成13年度～14年度に行った各共同研究機関の研究内容に対して各委員から活発な質疑、意見交換および最終評価が行われた。

(2) 客員研究員受入事業

研究者を延べ4日間招き、高速度カメラを用いた工具振れ回りの測定技術の研究支援及び技術指導を受けた。事業実績は以下のとおりである。

氏名	所属	内容	期間
河野 良弘	鹿児島工業高等専門学校	・高速度カメラによる回転工具撮影方法 ・高速度カメラによる加工時の撮影方法 ・NC工作機械制御手法AOTFを用いた3次元計測技術	12.11～ 2.12

**(3) 技術者受入事業**

工具振れ回り測定システムの開発および、平成14年度に予定している応用技術開発事業で試作を円滑に行うために延べ3日間受け入れ、工業技術センターで測定方法や原理について技術移転を行った。事業実績は以下のとおりである。

氏名	所属	内容	期間
山下 成敏	アルバック精機(株)	高速切削加工における工具挙動の可視化技術の開発	12.11～2.12

**(4) 中核技術開発事業**

高速度シャッターカメラで工具を撮影し、データをパソコンに取り込み、画像処理によって回転時の工具挙動を測定するシステムの開発を行った。事業実績は以下のとおりである。

機器名	設置日	主な仕様
加工監視・適応制御システム	10.22	高速度カメラ XV-1000((株)キーエンス) 解像度：640×480(ピクセル) シャッター速度：最短1/2000秒 制御用パソコン NEC クロック数：1.6GHz

**(5) 技術支援基盤事業**

中核技術開発事業で購入した機器を企業の技術者に開放し、機器の特性や使用法の習得に対する支援を行った。

**(6) 普及事業**

## ①成果普及発表会

「高速切削加工における工具挙動の可視化技術の開発」という統一テーマで、次のとおり開催した。

開催日	開催場所	参加人数	備考
3.13	鹿児島県工業技術センター	28	特別講演「NC工作機械におけるインプロセス制御技術」(講師 鹿児島工業高等専門学校河野 良弘教授)を併せて実施した。

また、普及のためのテキスト(200部)を作成し、参加者に配布した。

## ②その他の普及実績

- (口頭発表) ・平成14年度鹿児島県工業技術センター研究成果発表会(平成14年7月17日)
- ・平成14年度秋季精密工学会(平成14年10月2日)
- ・平成14年度計測分科会(平成14年10月17日)
- (誌上発表) ・鹿児島県工業技術センター研究報告(平成14年10月発行)

**4-4 ものづくり情報通信技術融合化支援センター整備事業**

「3次元CAD/CAMを用いた製造業の生産工程高度化のための研修プロジェクト」

県内企業へのCAD/CAMの普及と製造工程の改善、設計開発力の向上を目的に3次元CAD/CAM技術研修会を開催した。

**4-4-1 使用実績・成果等**

## 研修-1

技術研修(指導)の日時	内容	回数	時間
技術研修(指導)の日時	NCマクロ基礎	4.10, 4.11, 4.23, 4.24, 6.12, 8.23	11.12, 12.5, 12.17, 2.27
	NCマクロ応用	6.19, 7.3	
	NC加工基礎	10.28	
	NC加工応用	10.29	
	3次元CAD基礎	6.4～6.5, 7.8～7.9, 9.9～9.10	11.18～11.19, 2.3～2.4
	3次元CAD応用	7.10～7.12, 11.20～11.21, 2.5～2.6	
	2次元CAM基礎	9.11～9.12	
	3次元CAM基礎	11.22	
	CAE基礎	6.11, 2.7	
	合計	37日, 231時間	

技術研修（指導）の名称	3次元CAD/CAM技術研修会
技術研修（指導）内容の概要	<p>NCマクロ基礎および応用 NC加工において3次元CAD/CAMと併用することによって加工能率の向上を図ることができるマクロプログラミングの方法の基礎と運用方法を習得する。</p> <p>NC加工基礎および応用 NC工作機械の知識、プログラミング、加工方法、などNC加工に必要な基礎知識を習得する</p> <p>CAD/CAM1日体験 CAD/CAMを使った加工の流れを実習を通して体験する。</p> <p>3次元CAD基礎 3次元CADによるモデリングの基礎知識を実習によって習得する。</p> <p>3次元CAD応用 3次元モデル作成法「スケッチ」の使い方、3次元モデルからの2次元図面の作成、3次元自由曲面の作成など、より高度な3次元CAD活用方法を実習によって習得する。</p> <p>3次元CAM基礎 CAD/CAMを使って、2次元平面におけるNCプログラム作成方法を実習によって習得する。</p> <p>3次元CAM基礎 CAD/CAMを使って、立体形状を加工するNCプログラム作成方法を実習によって習得する。</p> <p>CAE基礎 3次元CADで作成したモデルを元に構造解析や機構解析を行う方法を実習によって習得する。</p>
講師	<p>NCマクロ基礎・応用 宮原健志（イフマップ）</p> <p>NC加工基礎・応用 南 晃（鹿児島県工業技術センター）</p> <p>3次元CAD/CAM/CAE 山口貴充（株）S i i D</p>
参加企業名	<p>NCマクロ 基礎 19社、応用 3社</p> <p>NC加工 基礎 4社、応用 3社</p> <p>CAD/CAM1日体験 2社</p> <p>3次元CAD 基礎 16社 応用 7社</p> <p>2次元CAM 基礎 2社</p> <p>3次元CAM 基礎 3社</p> <p>CAE 基礎 4社</p>
参加人数	167人

研修－2について

技術研修（指導）の日時	<p>3次元CAD/CAM講習会 9. 2, 11. 13</p> <p>機械加工に関する講習会 11. 25～11. 26</p> <p>合計 4日 20時間</p>
技術研修（指導）の名称	3次元CAD/CAM講習会
技術研修（指導）内容の概要	<p>3次元CAD/CAM講習会</p> <p>9. 2 3次元CAD最先端機能、3次元CADによる金型設計 3次元CADによるプレス設計</p> <p>11. 13 機械装置設計における3次元CAD選定ポイント</p> <p>機械加工に関する講習会</p> <p>11. 25～11. 26 今後の加工低単価時代への挑戦 板金業界における企業体質の改善提案</p>
講師	<p>3次元CAD/CAM講習会</p> <p>9. 2 (株)S i i D 末次高浩、古舘幹雄、岸野靖、二瓶泰記</p> <p>11. 13 デジタルプロセス(株) 富永恭正</p> <p>機械加工に関する講習会</p> <p>11. 25～11. 26 ヤマザキマザック 伊奈知幸、若宮久</p>

参加企業数	3次元CAD/CAM講習会 9. 2 6社, 11. 13 4社 機械加工に関する講習会 11. 25～11. 26 22社
参加人数	90

## 研修－3について

技術研修（指導）の日時	6. 11～ 7. 12(22日), 11. 11～12. 27(34日), 11. 11～12. 27(34日) 1. 6～ 2. 28(39日), 1. 6～ 2. 28(39日), 1. 6～ 2. 28(39日) 1. 15～ 2. 28(39日), 2. 3～ 2. 28(19日) 合計 265日 970時間
技術研修(指導)の名称	3次元CAD・CAMに関する個別の技術指導
技術研修(指導)内容の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Windowsの使用方法に関する基礎知識</li> <li>・ 金型設計のための3次元CAD/CAMの操作方法</li> <li>・ 複雑なソリッドエッジへのブレンド作成法</li> <li>・ 形状の解析方法</li> <li>・ 3次元CADを使った切削加工用工具のモデリング手法</li> <li>・ シミュレーションによる強度解析および限界形状設計に関する検討</li> <li>・ 3次元曲面の作成</li> <li>・ IGES, parasolid等データ変換技術</li> <li>・ 3次元CADを使った機械部品や金型設計のためのソリッドモデリング</li> <li>・ 3次元CAMによるNCプログラム作成方法および運用法</li> <li>・ CAEによる構造解析の手順</li> <li>・ NC装置の運用法</li> </ul>
講師	工業技術センター機械技術部 南 晃
参加企業数	7社
参加人数	265人日

## ② 学生研修

技術研修（指導）の日時	7. 30
技術研修（指導）の名称	3次元CAD/CAM技術研修
技術研修（指導）内容の概要	機械加工分野における3次元CAD/CAMを利用した加工工程の流れを実際にCAD/CAMを操作しながら学ぶ。
講師	鹿児島県工業技術センター 南 晃
参加企業数 (参加企業名)	計 1 機関 (鹿児島大学工学部)
参加人数	12人

#### 4-5 科学技術特別研究員事業（日本学術振興会）

日本学術振興会が、創造豊かな若手研究員を一定期間科学技術特別研究員として公設試験研究機関等に派遣しており、この科学技術特別研究員を受け入れ、産学官の研究交流を促進し、創造的な科学技術の推進を図る。

##### 4-5-1 受け入れ研究の概要

- ①受入研究員名 NURUL TAUFUQU ROCHAMAN（ヌルル タウフィック ロッチャマン），国籍：インドネシア  
 ②受入開始日 平成13年1月1日から3年以内  
 ③受入担当部 素材開発部  
 ④研究テーマ ライフサイクルアセスメントを考慮した鉛フリー耐脱亜鉛黄銅合金の開発  
 ⑤研究成果  
 ・特殊な処理剤を用いて含鉛黄銅合金から鉛をほとんど除去する方法を発見した。  
 ・特殊な処理方法による耐脱亜鉛技術を開発した。  
 ・LCAに関する資料を収集した。

#### 4-6 試験研究機関連絡会議の開催

会 の 名 称	開催日	実施場所	内 容	参加機関	人数
産業技術連携推進会議生命工学部会九州地域部平成14年度第1回食品・バイオ研究会 (食品工業部)	9.19	隼人町	1. 部会長あいさつ 鹿児島県工業技術センター所長 水元 弘二 2. 講演会 「食品素材のガン予防能を簡易に測定するシステムの開発と健康維持食品開発への応用」 鹿児島大学農学部生物資源化学科 侯 徳興助教授 3. 検討会	9	25
平成14年度産業技術連携推進会議生命工学部会九州地域部会及び平成14年度第2回食品・バイオ研究会 (食品工業部)	2.20 ～2.21	鹿児島市	1. 本会議 1) 開会 2) 挨拶 ①生命工学部会九州地域部会長 水元 弘二 ②産業技術総合研究所 生命工学部会長 中村 吉宏 ③産業技術総合研究所九州センター 柴田 昌男 3) 議長選出 4) 議事 ①九州地域部会からの連絡事項 ②産業技術総合研究所からの連絡事項 ③産業技術総合研究所九州センターからの連絡事項 ④各県の試験研究業務の現状について ⑤協議事項 ⑥その他 2. 研究発表 7件 3. 食品・バイオ研究会 1) 講演会 「過熱水蒸気の商品加工への応用」 大川原化工機(株) 伊藤 崇 2) 検討会	12	24



#### 4-7 研究交流推進事業

先端技術などの積極的な取り組みや研究開発能力の強化を図るため、高度な知識技能を有する研究者を招へいし、または先進研究所へ研究員を派遣して、研究機能の充実を図ることを目的とする。

##### 4-7-1 招へい研究

研究者氏名	招へい研究者の所属	研究テーマ	期 間	担当部
松本 豊	静岡県工業技術センター	有機性廃棄物の有効利用に関する研究	2. 6～ 2. 7	化学・環境部
樋口 光夫	福岡県工業技術センター	地域木質資源を用いた新規複合材料の開発	2. 5～ 2. 6	木材工業部
森 拓郎	京都大学木質科学研究所	スギ材の実強度予測システムの構築	3. 12～ 3. 13	

##### 4-7-2 派遣研究

研究者氏名	派遣研究先	研究テーマ	期 間	担当部
小幡 透	福岡県保健環境研究所	住宅におけるVOC捕集に関する技術の習得	10. 31～11. 2	化学・環境部
	静岡大学農学部	小型チャンバー法研修	11. 19	
	福岡県保健環境研究所	室内環境のVOC分析前処理, 分析研修	12. 11～12. 12	
湯之上 翼	職業能力開発総合大学校	動作解析システムによる人間動作の評価技術の研究	12. 9～12. 19	機械技術部

#### 4-8 職員派遣研修

職員名	研 修 先	研 修 名	期 間
桑原田 聡	中小企業大学校東京校	中小企業支援担当者研修	11. 11～12. 6

#### 4-9 委員の委嘱

委 員 名 (委 嘱 内 容)	職 員 名	依 頼 機 関
平成14年度鹿児島県中小企業創造活動促進法認定審査委員会委員	水元 弘二	商工観光労働部
平成14年度中小企業技術開発産学官連携促進事業産学官連携推進委員会委員	水元 弘二	商工観光労働部
鹿児島県伝統的工芸品産業振興対策協議会委員	水元 弘二	商工観光労働部
シラスコンクリート検討委員会委員	水元 弘二	土木部
鹿児島県人材育成センター運営委員会委員	水元 弘二	(財)かごしま産業支援センター
創造的中小企業審査委員会委員	水元 弘二	(財)かごしま産業支援センター
地域産業活性化委員会委員	水元 弘二	(財)かごしま産業支援センター
研究開発審査委員会委員	水元 弘二	(財)かごしま産業支援センター
(財)鹿児島県環境技術協会技術顧問	水元 弘二	(財)鹿児島県環境技術協会
鹿児島県新技術開発推進協議会委員	水元 弘二	鹿児島県新技術開発推進協議会
平成14年度特産品等販路開拓支援事業推進委員会副委員長	水元 弘二	鹿児島県商工会連合会
伝統製法食品認証判定委員	水元 弘二	鹿児島県天然つぼづくり米酢協議会
屋久杉フェスタ審査委員	水元 弘二	鹿児島県屋久杉事業協同組合
(社)発明協会鹿児島支部常任理事	水元 弘二	(社)発明協会鹿児島支部
(財)日本醤油農林規格検査協会委託検査員	水元 弘二	(財)日本醤油検査協会
全国味噌鑑評会審査員	水元 弘二	(社)全国味噌技術会
エキスパートバンク事業技術指導員	水元 弘二	鹿児島県商工会連合会

委員名(委嘱内容)	職員名	依頼機関
かごしま産業支援センター評議会委員	水元 弘二	(財)かごしま産業支援センター
錦江湾テクノパーククラブ役員会委員	水元 弘二	錦江湾テクノパーククラブ
鹿児島県創造技術研究開発費補助金審査会	水元 弘二	商工観光労働部
鹿児島県中小経営革新支援事業費補助金審査会委員	水元 弘二	商工観光労働部
鹿児島県農産物加工研究指導センター運営協議会委員	水元 弘二	農政部
鹿児島県本格焼酎技術開発研究システム委員	水元 弘二 間世田春作	鹿児島県本格焼酎技術開発研究システム
日本応用糖質科学会九州支部幹事	水元 弘二 間世田春作	日本応用糖質科学会九州支部
組合活性化情報編集委員	泊 誠	鹿児島県中小企業団体中央会
貸付審査委員会委員	泊 誠	(財)かごしま産業支援センター
木材産業等高度化推進資金合理化計画認定委員	泊 誠	林務水産部
鹿児島県木材産業等高度化推進資金運営協議会委員	泊 誠	林務水産部
鹿児島県農林漁業信用基金連絡協議会委員	泊 誠	林務水産部
特許移転検討委員会委員	泊 誠 伊藤 博雅	(社)発明協会鹿児島県支部
九州地区溶接技術検定委員	泊 誠	(社)日本溶接協会九州地区溶接技術検定委員会
知的クラスター検討委員会	伊藤 博雅	鹿児島大学地域共同研究センター
ニーズ対応型産学連携シンポジウム鹿児島大会実行委員会委員	村田 博司	福岡大学北九州産学連携推進室
タンパク3000プロジェクト「発生・分化とDNAの複製・修復」領域内調整会評価委員	村田 博司	東京大学大学院農学生命科学研究科
日本木材学会九州支部連絡幹事	山之内清竜	日本木材学会九州支部
「平成14年度新ふるさと特産品コンクール」審査員	寺尾 剛	鹿児島県県産品愛用運動推進協議会
第30回鹿児島県身体障害者作品展審査員	寺尾 剛 山角 達也	(社)鹿児島県身体障害者福祉協会
鹿児島県人材育成センターカリキュラム編成委員会委員	寺尾 剛 間世田春作 森田 春美 永吉 弘己	(財)かごしま産業支援センター
「かごしまデザインフェア&コンペ2003」実行委員会委員	恵原 要	(社)鹿児島県工業倶楽部
かごしまデザイン協議会研修委員会副委員長	恵原 要	かごしまデザイン協議会
かごしまデザイン協議会啓発委員会委員長	恵原 要	かごしまデザイン協議会
錦江湾マリンスポーツ大会in大隅企画連絡会議委員	恵原 要	企画部
KWF(かごしまウッディテック・フォーラム)誌編集委員	恵原 要 山之内清竜 森園 眞子	かごしまウッディテック・フォーラム
鹿児島県本格焼酎技術研究会運営委員	高峯 和則 安藤 義則	鹿児島県本格焼酎技術研究会
第25回本格焼酎鑑評会審査員	高峯 和則	独立行政法人酒類総合研究所
本格焼酎鑑評会の審査員	高峯 和則 亀澤 浩幸	鹿児島県酒造組合連合会
公社営畜産事業家畜糞尿処理施設選定委員会専門委員	神野 好孝	(財)鹿児島県地域振興公社
(社)日本化学会九州支部幹事	神野 好孝	(社)日本化学会九州支部

委員名(委嘱内容)	職員名	依頼機関
(財)鹿児島県環境技術協会環境技術会議委員	濱石 和人 神野 好孝	(財)鹿児島県環境技術協会
(社)日本セラミックス協会世話人	神野 好孝	(社)日本セラミックス協会
即効型地域新生コンソーシアム(マイクロカプセル)研究開発委員会委員	神野 好孝	(財)九州産業技術センター
地域新生コンソーシアム(焼酎粕)研究開発委員会委員	神野 好孝	(財)九州産業技術センター
課題対応新技術研究調査事業「環境負荷低減型水産加工業製造システム開発に関する研究調査」技術委員会	神野 好孝	(株)フジヤマ
日本木材学会連絡幹事	森田 慎一	日本木材学会
日本エネルギー学会バイオマス部会委員	森田 慎一	(社)日本エネルギー学会
木材産業技術実用化促進緊急対策事業試験調査委員会委員	森田 慎一	(財)日本住宅・木材技術センター
即効型地域新生コンソーシアム(マイクロカプセル)技術分科会委員	西元 研了	(財)九州産業技術センター
南九州化学工学懇話会企画委員	安藤 浩毅	南九州化学工学懇話会
産総研コンソーシアム(新方式圧力センサ)研究推進委員会委員	濱石 和人	(財)九州産業技術センター
シラスコンクリート検討委員会幹事会幹事	濱石 和人	土木部
耐候性向上技術開発委員会委員	中村 俊一	(社)日本木材保存協会
産総研コンソーシアム(新方式圧力センサ)分科会委員	吉村 幸雄	(財)九州産業技術センター
溶接技術競技会審査委員	森田 春美 瀬戸口正和	(社)日本溶接協会鹿児島県支部
技能検定委員(前期)	森田 春美 恵原 要 西元 研了 市来 浩一 湯之上 翼	鹿児島県職業能力開発協会
技能検定委員(後期)	市来 浩一 湯之上 翼	鹿児島県職業能力開発協会
第48回鹿児島県発明くふう展審査会審査委員	湯之上 翼 中村 寿一	(社)発明協会鹿児島県支部
ソフトウェア技術者等養成講座カリキュラム編成委員会	永吉 弘己	(財)かごしま産業支援センター
鹿児島県マルチメディアコンテンツ高度化協議会	永吉 弘己	鹿児島県マルチメディアコンテンツ高度化協議会
課題対応新技術研究調査事業「脱脂綿を利用した電磁波吸収材の開発に関する研究調査」技術委員会	永吉 弘己 尾前 宏	カクイ(株)(委託機関)
地域新生コンソーシアム研究開発事業「GHz帯フレキシブル多芯ケーブル接続システムの開発」研究開発推進委員会	尾前 宏	(財)九州産業技術センター
電気学会パターン認識の応用環境の拡大調査専門委員会委員	仮屋 一昭	電気学会
EMC技術者協会九州支部副支部長	永吉 弘己	EMC技術者協会九州支部
中小企業技術開発産学官連携促進事業推進委員会	仮屋 一昭	中小企業庁
かごしま材品質基準普及促進協議会委員	山角 達也	林務水産部
乾燥材普及促進企画運営委員会委員	山角 達也	林務水産部
奄美産材利用推進協議会委員	山角 達也	林務水産部
木材産業技術実用化促進緊急対策事業試験調査委員会委員	福留 重人	(財)日本住宅・木材技術センター

## 4-10 視察・見学者

月	企業・団体名等（主なもの）	視察・見学者数（名）			
		県内	県外	海外	計
4	日本ハードウェア(株) 鹿児島県大阪事務所	2	2	0	4
5	鹿児島県農業大学校畜産学部一行 全国研究職連絡協議会一行 岐阜県出納長他一行	32	18	0	50
6	沖縄県庁職員 串良商業高等学校生徒一行 鹿児島県林業改良指導員一行	66	2	0	68
7	野田女子高等学校PTA一行 鹿児島大学農学部林学科学生一行 隼人町公民会連絡協議会一行	78	2	0	80
8	富隈小学校教員 鶴田町認定農業者会一行 鹿児島大学インターンシップ	50	33	0	83
9	東市来町婦人団体連絡協議会一行 鹿児島市保健所一行 国分電機他	85	23	0	108
10	鹿児島測量専門学校一行 インドネシア水産系公務員一行 高尾野町社会福祉協議会一行	132	0	28	160
11	中国経済貿易団一行 羽島地区自治公民館長他一行 宮之城町商工会一行	161	0	35	196
12	吉田町商工会一行 宮崎県川南町社会福祉協議会一行 鶴丸高等学校生徒一行	70	11	1	82
1	財部町議会議員一行 福山町豊農母の会一行 さつま銘木一行	29	0	0	29
2	九州弁理士会一行 外科手術支援システム研究会 特許庁情報課	13	12	0	25
3	トヨタ車体 市来町高齢者クラブ一行 九州経済産業局産業部技術企画課	31	3	0	34
計		750	105	64	919

## 4-11 その他施設利用

施設利用者	人数
日本溶接協会など2団体	310